

阿蘇神社の二つの役割

噴火を防ぎ豊穡をもたらす

阿蘇神社で行われる儀式や祭礼には二つの明確な役割があります：一つ目は阿蘇山の噴火を防ぐこと、二つ目は豊穡を確保することです。

この二つの役割は相互に結びついています；なぜなら、たとえ小さな噴火であっても、かなりの範囲にわたって農作物や家畜、住居が噴煙や火山灰の被害を受ける可能性があるためです。しかも、火山の噴火は多くの場合一度に数か月も続くので、累積した被害は非常に深刻なものになり得ます。

火山の噴火よりも収穫の時期の方がずっと定期的に訪れたため、神社では火口の鎮静化よりも米作りに関連した儀式や祭りを数多く行っています。